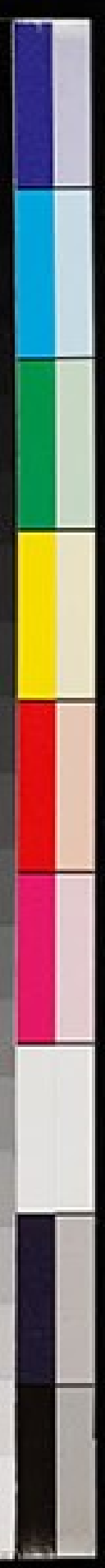


8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2

VOICIA	十	母ち知の臨るさまに
VOICIA	九	死りにて成へ天に在るひ
VOICIA	八	地にある死物をキリスト
VOICIA	七	の血により贖すなほ
VOICIA	六	たれ ちの血の豊なるに
VOICIA	五	由て御に在る死物を
VOICIA	四	御に在るに在われらに
VOICIA	三	御に在るに在われらに
VOICIA	二	御に在るに在われらに
VOICIA	一	御に在るに在われらに

聖約全書 皇朝所書 第一卷 白二至十節

8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2



ア	ア	十一	に歸せしめんが爲に定め給ひし所なり 萬 事を其意のまゝに行ふ者を
イ	イ	十二	のれの前には預ひて預せり我佛を定めりキリストに在て嗣子と爲し
ウ	ウ	十三	む これ前にキリストを預める我佛をして彼の榮の寶物らるゝ事と爲し
エ	エ	十四	めんため也 爾後其の證すなごも爾言を飲ふ爾言を預し彼キリストを
オ	オ	十五	信じ我佛が榮を嗣の寶なる物其の證を以て知せらる 神聖靈をもて印
カ	カ	十六	したまふ其寶交も亦を飲ひ且そのれの榮を嗣さんため也 是故に我も
キ	キ	十七	爾言がまよへスを信すること路の標を認むることを得て 爾言の爲
ク	ク	十八	に照して巴す當に彼が爾國のまよ言を信ふ 我佛の主イエスキリス
ケ	ケ	十九	トの神榮の父言と爾言の靈を爾言に歸ひ爾言ハもて神を認む 又
コ	コ	二十	爾言の心の目を明々にも其心を開りてその所の靈と敬虔に歸ふ所の榮の
サ	サ	二十一	榮の靈と 又た信する爾言に對して行ひ給ふ神の靈の標て大なることを
シ	シ	二十二	知しめ給はんことを爾言の信するが神の大なる靈の標に由なり 二
ス	ス		爾キリストに行ひ給ふにキリストの榮を嗣するは爾言の靈と我佛の靈と

Handwritten text in the left margin, likely a commentary or additional notes related to the main text.

8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2

<p>キ 聖書百廿二節 ク 聖書百廿三節 カ 聖書百廿四節 キ 聖書百廿五節 ク 聖書百廿六節 カ 聖書百廿七節 キ 聖書百廿八節 ク 聖書百廿九節 カ 聖書百三十節 キ 聖書百三十一節 ク 聖書百三十二節 カ 聖書百三十三節 キ 聖書百三十四節 ク 聖書百三十五節 カ 聖書百三十六節 キ 聖書百三十七節 ク 聖書百三十八節 カ 聖書百三十九節 キ 聖書百四十節</p>	<p>三三</p>	<p>三二</p>	<p>三一</p>	<p>三〇</p>	<p>二九</p>	<p>二八</p>	<p>二七</p>	<p>二六</p>
<p>給ふた救済のみならず來らんとする物にも凡て預ふる所の名の上に置か 天の地に^キて^ク己の右に^カ坐せしめられ給ふなり^キ 三三 又た一切の物を救ひ足すに^ク能 した救を^カ一切の物の上に^キ首となし^ク此を^カ教會に^キ賜ひて^ク其首と^カ爲す 教會ハ救 の名體なり^キ 物々以て^ク此物に^カ預むる者の^キ稱する所なり</p>	<p>三二 救ひの^キ賜は^ク神に^カ預むる所の^キ賜を^クも^カ生じ給へり 聖書百廿九節の^キ風俗 に^ク預ひ^カ救ひの^キ賜を^ク行ひて^カ口を^キ起り^ク舌を^カ起り^クある^キ諸國を^ク曉諭する者すな さら^キ信じて^ク救はるる者の中に^カ今は^キたらく^ク所の^キ聖に^ク歸へり 救済しみな^カ會て</p>	<p>三一 其中に^キより^ク肉の^カ慾に^キ預りて^ク口を^キ起り^ク肉と心の^カ慾ふ^キ任を^クなし^カ他人の^キ如く^ク本 性にして^カ迷の子なりき 然るに^キ神に^ク預むる^カ賜を^ク得て^カ其の^キ大なる</p>	<p>二九 聖に^キ歸^ク 聖に^カ死む^キ時に^クすら^カ救済を^キキリストに^ク信じて^カ生じ^クなんぢら^キ思に^ク由て 救はれし^カ也 又イエスキリストに^カ在われら^キを^ク救へ^カ聖と^キ共に^ク共に^カ天の^キ國に^ク</p>	<p>二八 命せしめ給へり 三〇 此れ今より^キ彼の^カ世々^キキリストイエスの中に^クて^カ救済に^ク歸 する所の^キ仁慈を^クもて^カ其恩の^キ首と^ク爲なることを^カ顯さん^キ知せり 三 なんぢら^キ思に</p>	<p>二七</p>	<p>二六</p>		

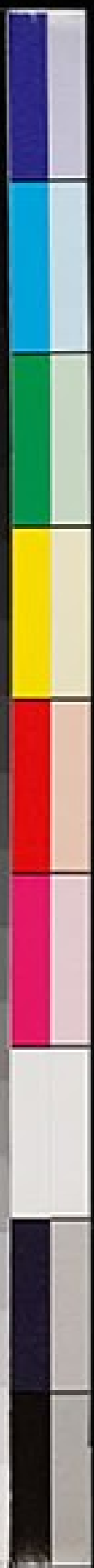
8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2

ルカ二四二六	八	彼の中に在りたりは是に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四二七	九	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四二八	十	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四二九	十一	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四三〇	十二	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四三一	十三	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四三二	十四	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四三三	十五	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四三四	十六	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり
ルカ二四三五	十七	預言者ハ即ち聖知人の爲にキリストイエスの四人となれる我ハサロ
ルカ二四三六	十八	福音の爲に成る 爾等の爲に成る我に賜ひし恩ハ爾等すでに聞しならん
ルカ二四三七	十九	事を得て 爾ら爾等をして典義を我に學ぶるなり我はよ爾に曉せる知し 爾等こ
ルカ二四三八	二十	れを我ハ之に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四三九	二十一	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四四〇	二十二	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四四一	二十三	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四四二	二十四	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四四三	二十五	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四四四	二十六	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四四五	二十七	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四四六	二十八	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり
ルカ二四四七	二十九	預言者ハ即ち聖知人の爲にキリストイエスの四人となれる我ハサロ
ルカ二四四八	三十	福音の爲に成る 爾等の爲に成る我に賜ひし恩ハ爾等すでに聞しならん
ルカ二四四九	三十一	事を得て 爾ら爾等をして典義を我に學ぶるなり我はよ爾に曉せる知し 爾等こ
ルカ二四五〇	三十二	れを我ハ之に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四五〇	三十三	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四五〇	三十四	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四五〇	三十五	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四五〇	三十六	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四五〇	三十七	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四五〇	三十八	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四五〇	三十九	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四五〇	四十	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり
ルカ二四五〇	四十一	預言者ハ即ち聖知人の爲にキリストイエスの四人となれる我ハサロ
ルカ二四五〇	四十二	福音の爲に成る 爾等の爲に成る我に賜ひし恩ハ爾等すでに聞しならん
ルカ二四五〇	四十三	事を得て 爾ら爾等をして典義を我に學ぶるなり我はよ爾に曉せる知し 爾等こ
ルカ二四五〇	四十四	れを我ハ之に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四五〇	四十五	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四五〇	四十六	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四五〇	四十七	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四五〇	四十八	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四五〇	四十九	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四五〇	五十	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四五〇	五十一	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四五〇	五十二	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり
ルカ二四五〇	五十三	預言者ハ即ち聖知人の爲にキリストイエスの四人となれる我ハサロ
ルカ二四五〇	五十四	福音の爲に成る 爾等の爲に成る我に賜ひし恩ハ爾等すでに聞しならん
ルカ二四五〇	五十五	事を得て 爾ら爾等をして典義を我に學ぶるなり我はよ爾に曉せる知し 爾等こ
ルカ二四五〇	五十六	れを我ハ之に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四五〇	五十七	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四五〇	五十八	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四五〇	五十九	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四五〇	六十	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四五〇	六十一	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四五〇	六十二	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四五〇	六十三	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四五〇	六十四	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり
ルカ二四五〇	六十五	預言者ハ即ち聖知人の爲にキリストイエスの四人となれる我ハサロ
ルカ二四五〇	六十六	福音の爲に成る 爾等の爲に成る我に賜ひし恩ハ爾等すでに聞しならん
ルカ二四五〇	六十七	事を得て 爾ら爾等をして典義を我に學ぶるなり我はよ爾に曉せる知し 爾等こ
ルカ二四五〇	六十八	れを我ハ之に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四五〇	六十九	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四五〇	七十	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四五〇	七十一	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四五〇	七十二	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四五〇	七十三	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四五〇	七十四	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四五〇	七十五	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四五〇	七十六	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり
ルカ二四五〇	七十七	預言者ハ即ち聖知人の爲にキリストイエスの四人となれる我ハサロ
ルカ二四五〇	七十八	福音の爲に成る 爾等の爲に成る我に賜ひし恩ハ爾等すでに聞しならん
ルカ二四五〇	七十九	事を得て 爾ら爾等をして典義を我に學ぶるなり我はよ爾に曉せる知し 爾等こ
ルカ二四五〇	八十	れを我ハ之に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四五〇	八十一	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四五〇	八十二	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四五〇	八十三	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四五〇	八十四	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四五〇	八十五	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四五〇	八十六	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四五〇	八十七	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四五〇	八十八	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり
ルカ二四五〇	八十九	預言者ハ即ち聖知人の爲にキリストイエスの四人となれる我ハサロ
ルカ二四五〇	九十	福音の爲に成る 爾等の爲に成る我に賜ひし恩ハ爾等すでに聞しならん
ルカ二四五〇	九十一	事を得て 爾ら爾等をして典義を我に學ぶるなり我はよ爾に曉せる知し 爾等こ
ルカ二四五〇	九十二	れを我ハ之に由て我キリストの奥義を曉れることを知べし 前代に之を
ルカ二四五〇	九十三	人に知しめしめ今當を以て使徒使と預言者に學ぶが知ならざりき 今の
ルカ二四五〇	九十四	奥義ハ即ち聖知人福音に由キリストイエスに在て共に親子となり共に一
ルカ二四五〇	九十五	體となり共に約束に與る事を得ること由 われ神の恩賜すなはち其他の恩
ルカ二四五〇	九十六	賜を以て共に賜ひし恩によりて此福音の授者となれり 爾の授後の中に
ルカ二四五〇	九十七	預言者ハ即ち聖知人と共に知したる時の家に歸する者なり 且なんぢら其
ルカ二四五〇	九十八	恩と預言者の恩の上に歸するイエスキリスト自ら其恩の首石となれり 二
ルカ二四五〇	九十九	余歸みな歸合て彼の中に在りたりは若て聖聖主の中に成なり 聖聖も爾に
ルカ二四五〇	百	彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり

ルカ二四五〇 彼の中に在りたりは是に由て爾の恩賜も成となるべき爲なり

質約十次の人 質約一の十 質約二の十 質約三の十 質約四の十 質約五の十 質約六の十 質約七の十 質約八の十 質約九の十 質約十の十	A REBORN A REBORN A REBORN A REBORN A REBORN A REBORN A REBORN A REBORN A REBORN A REBORN	十二 十一 十 九 八 七 六 五 四 三 二 一	<p> 最良者より取らば此取を以て取ることを願はざるキリストの言 質約人に傳へ、且イエスキリストを見て高橋を造りし御の中に御の御よ り取らせられたる御意如何を此の人に知らしむ、これ教會を以て天の地に ある取を執る者と相成なる者に御の御意を申しめん為なり、此 御取々の先より定め給ひし御に當る也、この言の御の言キリストイ スに由て誤説せり、我言キリストイエスに在て之を信するにより御の 言ることを得た御ることなくして御に當ることを得たり、是故に我言 言に當り御の御に當る御意により御のことを得たることを申し、我なり 御に當り、御の御の御を信するキリストの御、天の地に御の御に由 て名を得し御の御に當り、御よ、其の御に當り、御の御に當り、御の御 の人を御、御にも、又キリストを以て御に由て御の心に當り、と 御の御を以て、御に當り、御の御に當り、御の御に當り、御の御に當り、 <u>御の御を以て、御の御を以て、御の御を以て、御の御を以て、御の御を以て、</u> </p>
--	--	--	--

8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2





二十	キリシトイニスに	聖書に記せしめ給ふんことを由 聖くハ我々の中に行ふ能方に就いて我々の
十九	キリシトイニスに	我々をこゝろ取ふ所より我々に過れる事を有得る者に
十八	キリシトイニスに	より教會の中にて我々を欺なく愛を論せんことをフメン
十七	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
十六	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
十五	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
十四	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
十三	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
十二	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
十一	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
十	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
九	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
八	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
七	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
六	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
五	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
四	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
三	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
二	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に
一	キリシトイニスに	我々の罪をばまに在て罪人となれる我々ならに我々ならにばされし由に

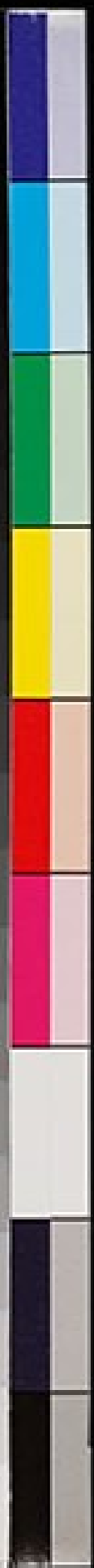
聖書新約 以弗所書 第二 章 五十五十五

8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2



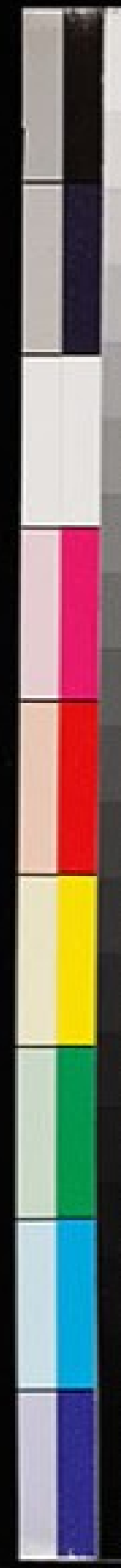
4 EIGHTH	10	服役の事を有りキリストの脚の地を踏むを得てもて彼をなしく其のキリストの足に
4 EIGHTH	11	踏む之を踏む人となすキリストの脚を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	12	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	13	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	14	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	15	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	16	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	17	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	18	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	19	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	20	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	21	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	22	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	23	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	24	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	25	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	26	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	27	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	28	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	29	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは
4 EIGHTH	30	キリストの脚を踏むは其の地を踏むは其の地を踏むは

8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2



三	此の如く	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
二	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
一	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
十	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
九	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
八	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
七	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
六	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
五	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
四	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
三	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
二	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記
一	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記	申命記 申命記 申命記

聖書新編 第六卷 旧約聖書 申命記 五百六十

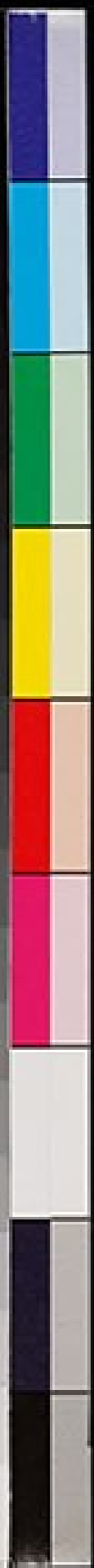


8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2

十一	兄弟よ主なるよび其大なる能に就て財難なるべし 十一 なんぢら惡魔の奸計を	兄弟よ主なるよび其大なる能に就て財難なるべし 十一 なんぢら惡魔の奸計を
十二	服ん爲に其の欲を以て欲ふべし 我佛ハ血肉の軀に於て我々の欲	服ん爲に其の欲を以て欲ふべし 我佛ハ血肉の軀に於て我々の欲
十三	おは斯等の財難を爲さむおは天の國にあり其の樂も服ん爲なり 是故に	おは斯等の財難を爲さむおは天の國にあり其の樂も服ん爲なり 是故に
十四	佛の此具を取べし是れもし日に就て樂を樂ざ凡の事を成就して立ん爲な	佛の此具を取べし是れもし日に就て樂を樂ざ凡の事を成就して立ん爲な
十五	り なんぢら文に服ん爲として彼に就び我々の樂として對に當 和平な	り なんぢら文に服ん爲として彼に就び我々の樂として對に當 和平な
十六	る聖書の言を以てして是に就 此はハ聖書の言を取べし此言をもて惡く	る聖書の言を以てして是に就 此はハ聖書の言を取べし此言をもて惡く
十七	惡者の大言を以てして是を行ん また彼の言るよび聖書の言するなハハ神の國	惡者の大言を以てして是を行ん また彼の言るよび聖書の言するなハハ神の國
十八	を取 爾に各様の聯合と斷水を取て爾に由て來つ 爾の利益の爲にし爾	を取 爾に各様の聯合と斷水を取て爾に由て來つ 爾の利益の爲にし爾
十九	めて此事をなむ我々の爲に 且わは口を閉ぢし言を語らり我々の	めて此事をなむ我々の爲に 且わは口を閉ぢし言を語らり我々の
二十	て爾等の義を以てし 又わは爾等の能く之を説きし言を語らり我々の	て爾等の義を以てし 又わは爾等の能く之を説きし言を語らり我々の
二十一	めいに我々の心我々の言の爲に 爾等の言を以てして 愛する	めいに我々の心我々の言の爲に 爾等の言を以てして 愛する
二十二	兄弟よ主なるよび其大なる能に就て財難なるべし 十一 なんぢら惡魔の奸計を	兄弟よ主なるよび其大なる能に就て財難なるべし 十一 なんぢら惡魔の奸計を
二十三	服ん爲に其の欲を以て欲ふべし 我佛ハ血肉の軀に於て我々の欲	服ん爲に其の欲を以て欲ふべし 我佛ハ血肉の軀に於て我々の欲
二十四	おは斯等の財難を爲さむおは天の國にあり其の樂も服ん爲なり 是故に	おは斯等の財難を爲さむおは天の國にあり其の樂も服ん爲なり 是故に
二十五	佛の此具を取べし是れもし日に就て樂を樂ざ凡の事を成就して立ん爲な	佛の此具を取べし是れもし日に就て樂を樂ざ凡の事を成就して立ん爲な
二十六	り なんぢら文に服ん爲として彼に就び我々の樂として對に當 和平な	り なんぢら文に服ん爲として彼に就び我々の樂として對に當 和平な
二十七	る聖書の言を以てして是に就 此はハ聖書の言を取べし此言をもて惡く	る聖書の言を以てして是に就 此はハ聖書の言を取べし此言をもて惡く
二十八	惡者の大言を以てして是を行ん また彼の言るよび聖書の言するなハハ神の國	惡者の大言を以てして是を行ん また彼の言るよび聖書の言するなハハ神の國
二十九	を取 爾に各様の聯合と斷水を取て爾に由て來つ 爾の利益の爲にし爾	を取 爾に各様の聯合と斷水を取て爾に由て來つ 爾の利益の爲にし爾
三十	めて此事をなむ我々の爲に 且わは口を閉ぢし言を語らり我々の	めて此事をなむ我々の爲に 且わは口を閉ぢし言を語らり我々の
三十一	て爾等の義を以てし 又わは爾等の能く之を説きし言を語らり我々の	て爾等の義を以てし 又わは爾等の能く之を説きし言を語らり我々の

兄弟よ主なるよび其大なる能に就て財難なるべし 十一 なんぢら惡魔の奸計を
 服ん爲に其の欲を以て欲ふべし 我佛ハ血肉の軀に於て我々の欲
 おは斯等の財難を爲さむおは天の國にあり其の樂も服ん爲なり 是故に
 佛の此具を取べし是れもし日に就て樂を樂ざ凡の事を成就して立ん爲な
 り なんぢら文に服ん爲として彼に就び我々の樂として對に當 和平な
 る聖書の言を以てして是に就 此はハ聖書の言を取べし此言をもて惡く
 惡者の大言を以てして是を行ん また彼の言るよび聖書の言するなハハ神の國
 を取 爾に各様の聯合と斷水を取て爾に由て來つ 爾の利益の爲にし爾
 めて此事をなむ我々の爲に 且わは口を閉ぢし言を語らり我々の
 て爾等の義を以てし 又わは爾等の能く之を説きし言を語らり我々の
 めいに我々の心我々の言の爲に 爾等の言を以てして 愛する

8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2



聖約全書 以弗所書 第六章 百廿三章廿四節

キリストの御名 二四
キリストの御名 二五
キリストの御名 二六

二四
 二五
 二六

めん爲なり 爾くハ兄弟父なる神と主イエスキリストより信守に於て平
 安と愛を得んことを 爾くハ我々の主イエスキリストを固ら守して愛す
 る凡の者に思あらんことをアメン

しんがくやうたうとんてんがらふてん
聖約全書以弗所書 第